





安全・健康・ウェルビーイングのためのグローバルイニシアチブ @EXPO2025 & BEYOND (GISHW) は、国際連合 (UN) の専門機関である世界保健機関 (WHO) や国際労働機関 (ILO) をはじめとする国際機関、グローバル企業と連携し、すべての働く環境における安全・健康・ウェルビーイングの向上を目指す国際的なプラットフォームです。

企業の成長と競争力の源泉は「人」です。従業員が安心して健康的に働ける環境を整えることは、生産性向上、離職率の低下、イノベーションの創出につながり、結果として企業の持続可能な成長を実現します。さらに、こうした取り組みは企業価値の向上や社会的信頼の獲得にも寄与し、ESG 経営の観点からも不可欠です。

GISHW は、国際会議、シンポジウム、展示会などを通じて、経営層・専門家・政策立案者が情報を共有し、最新の知見を学び合う場を提供しています。企業の人的資本投資を強化し、より良い未来を創るために、ぜひこのグローバルな対話にご参加ください。

GISHW は、右頁に示す多くの国際的な機関や企業が連帯し、2025 年に大阪で開催される関西大阪万博において、万博史上初の働く人の安全・健康・ウェルビーイングをテーマとしたイベント「未来への贈り物—80 億人の安全・健康・ウェルビーイング」を開催します。

日本産業衛生学会の皆様

JULY

17 Thu

AM PM

JULY

18 Fri

AM PM

HIGH-LEVEL SUMMIT

ハイレベルサミット (P.5 参照)

国際機関のトップや様々な分野の企業の代表が集い、働く環境の安全・健康・ウェルビーイングについて議論し、意見を交わします。最新の政策動向を把握し、企業の経営戦略に活かす機会です。

JULY

16 Wed

AM PM

WORLD ASSEMBLY

SHW 専門家の世界大会 (P.5 参照)

世界の安全・健康・ウェルビーイングの専門家が集結し、急速に変化する働く環境が直面する課題を議論します。経営者の方々にとって、従業員の生産性向上や企業の持続的成長につながる最新の知見を得る貴重な機会をご提供します。

JULY

17 Thu

AM PM

JULY

18 Fri

AM PM

JULY

19 Sat

AM PM

INTERNATIONAL SYMPOSIUM

国際シンポジウム (P.6 参照)

働く環境の安全・健康・ウェルビーイングについて、ポリシー (政策・方針) レベルとプラクティス (実践) レベルの両面から議論を深めます。経営者にとっても、最新の政策動向を把握し、それを実践に落とし込むことは、企業の持続的成長と競争力向上のために重要です。

JULY

17 Thu

AM PM

ILO YOUTH CONGRESS

ILO ユース कांग्रेस (P.7 参照)

世界の学生が、理想的な未来の働く環境について提言を行います。企業にとっても、次世代の視点を理解し、未来の人材が求める職場像を知ることは、持続的成長と優秀な人材確保のために欠かせません。

JULY

16 Wed

AM PM

JULY

17 Thu

AM PM

JULY

18 Fri

AM PM

JULY

19 Sat

AM PM

EXHIBITION

展示会 (P.7 参照)

主要な国際・国内機関、そしてグローバル企業が、優れた取り組みや最新のウェルビーイングテクノロジー・ソリューションを展示・発表します。企業トップにとって、業界の最前線で何が起きているのかを把握し、次の一手を考える貴重な機会となるでしょう。

JULY

17 Thu

AM PM

JULY

18 Fri

AM PM

FESTIVAL

フェスティバル

未来の可能性と方向性を体験し、自社の成長戦略やイノベーション創出のヒントを得る貴重な機会を提供します。ウェルビーイングテクノロジーが描く未来社会のビジョンを、魅力的なパフォーマンスや展示を通じて発信し、新たな気づきとインスピレーションを提供します。

JULY

16 Wed

AM PM

INTERNATIONAL STANDARDIZATION FORUM

国際標準化フォーラム (P.7 参照)

グローバルな規格動向を把握し、自社の競争力強化や持続的成長に活かすことが経営者にとって不可欠な時代となっています。安全・健康・ウェルビーイングな働く環境を実現するために、国際標準化の重要性と今後の展望について議論を深めます。

経営者	OSH 専門家	エンジニア
◯	◯	◯
◯	◯	◯
◯	◯	◯
◯	◯	◯
◯	◯	◯
◯	◯	◯
◯	◯	◯

Collaborators 共同推進機関

More to join!

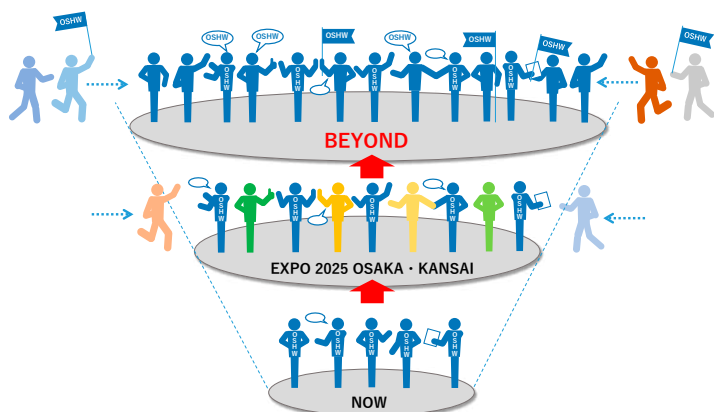


The displayed logos represent institutions, companies, universities, and other organizations to which individuals belong who support the GISHW initiative, which aims to enhance the safety, health, and well-being of workers to contribute to the well-being of 8 billion people worldwide. These individuals participate in and collaborate on the initiative from various perspectives, including technology, management, and international standardization. 表示されているロゴは、働く人の安全・健康・ウェルビーイングの向上を通じて、地球上の 80 億人の幸福実現を目指す GISHW 活動に賛同し、技術・マネジメント・国際標準化を含むさまざまな側面から参加し活動を共にする方々が所属する機関・企業・大学など、また、GISHW 活動を後援する機関を表しています。

Supporters 日本の後援機関 (順不同)



The displayed logos institutions that support the GISHW initiative. GISHW 活動を後援する機関のロゴを表示しています。



コンセプト

- People's Living Lab -

未来社会の実験場

- 展示をみるだけでなく、世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)。
- 万博開催前から、世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォームを立ち上げ。
- 人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する場に。

出典：大阪関西万博ウェブサイト



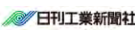
大阪・関西万博のコンセプト「未来社会の実験場 (People's Living Lab)」は、世界 80 億人が共に未来を創る場として、知識と技術を結集し、人類の重要課題に取り組むことを目指しています。

このビジョンに基づき、GISHW は、働く環境の安全・健康・ウェルビーイング (OSHW) に関する専門家が知見や経験、アイデアを共有できるプラットフォームを構築します。

このプラットフォームは、専門家同士の協働の場であるだけでなく、OSHW の専門家、異分野のリーダー、各種機関、企業の経営者、そして一般の方々が交流し、学び合う場となります。

エグゼクティブ委員会メンバー

In alphabetical order of last name

  Honorary Chair Masao Mukaidono	  Chair Toshihiro Fujita	  Vice-chair Hiroshi Asahi	  Vice-chair Eiyu Hayashi	  Vice-chair Hans-Horst Konkolewsky	  Vice-chair Marijana Zivkovic Mtegha	  Vice-chair Shinichi Takasaki	  Vice-chair Yoshikazu Tanaka	  Vice-chair Lars Wismer	  Vice-chair Noriko Takeuchi
  Tommi Alanko	  Majed Alfuwaiz	  Kim Hyun Joong	  Dee Arp	  Mohammed Azman	  Ulrike Bollman	  Samantha Connell	  Bernie Doyle	  Rolf Ellegast	  Christian Felten
  Hiroshi Fujiwara	  Andresa Hernandez	  Ho Siong Hin	  Carina Hjørngaard Hjorth	  Stuart Hughes	  Stefan Hussy	  Ehi Iden	  Satoshi Inoue	  Ivan Ivanov	  Yasufumi Kaneda
  Hiroshi Kasai	  Seong Kyu Kang	  Jun Kurihara	  Takashi Kawata	  Akira Kubota	  Zhao Li	  Tsuayoshi Matsushita	  Yasutomo Nasu	  Joaquim P. Nunes	  Akiko Ohara
  Stefan Olsson	  Francesco Santi	  Manfred Schoch	  Malcolm Staves	  Alison van Keulen	  Kazutsugu Suita	  Tamio Tanikawa	  Lars Tornvig	  Bonnie Yau	

ハイレベル・サミット — Keynote — Panel Discussion

JULY 17, 2025 (MORNING)



国連専門機関やグローバル企業・大学のトップが登壇予定

JULY	JULY	JULY	JULY
16 Wed	17 Thu	18 Fri	19 Sat
AM PM	AM PM	AM PM	AM PM

参加される皆様に有益で参考となるプログラムを現在構成中であり、プログラム内容や時間は変更となる可能性があります。



JULY 18, 2025 (MORNING)

World Assembly Plenary
安全・健康・ウェルビーイング
専門家の本会議

世界中から集まった安全・健康・ウェルビーイング専門家らが、8つの専門セッションを通じて、多くの最新の知見と実践が共有し、議論を重ねます。サミットの一貫として行われるプレナリー・本会議では、セッションでの議論の成果を発表し、未来への提言を行います。

JULY 16, 2025



午前の部 10:00 - 13:00

Workshop 1

持続可能な社会に向けた労働安全衛生（OSH）の未来

The Future of OSH within the Sustainability Agenda



Francesco Santi
President
European Network of Safety and Health Professional Organizations (ENSHPO)



Stuart Hughes
Immediate Past President IOSH/Head of Health & Safety
Mercedes-AMG Petronas Formula One Team



Workshop 3

気候変動が働き方に与える影響とその未来

Climate Change and the Future of Work



Andrea Hiddinga-Schipper
Past President
International Occupational Hygiene Association (IOHA)



Martin Hogan
Vice President
International Commission on Occupational Health (ICOH)



午後の部 14:00 - 17:00

Workshop 5

人に優しい職場の進化：職場の健康とウェルビーイングをさらに高めるには

The Evolution of Human-Centric Workplaces: How to advance workplace wellbeing



Pernille Thau
Vice President of Global Services & International Vision Zero Consultancy
Human House



Thomas Heilskov-Hansen
Head of Health
Novo Nordisk



Workshop 7

OSH の専門職はどう変わっていくのか？

How is the OSH profession transforming?



Dee Arp
Vice President
INSHPO



Nathan Winter
President
INSHPO



Workshop 2

働き方と職場の未来：デジタル技術活用で安全・健康・ウェルビーイングを向上

The Future of Work and Workplaces: Harnessing Digitalisation for Safety, Health and Well-being



Sven Timm
Director of Central Prevention Division, DGUV



Cam Stevens
CEO Work Design & Safety Transformation Coach
Pocketknife Group



Workshop 4

変わりゆく OSH という専門職：これまでとこれから

The evolving OSH profession: What lies behind us and how do we look to the future?



Duncan Spencer
Head of Advice and Practice
Institution of Occupational Safety and Health (IOSH)



Ulrike Bollmann
President, ENETOSH



Workshop 6

OSH 指標を活用したリーダーシップ：より良い予防策への道筋

Leading with OSH Metrics – the way forward to better prevention



Duncan Spencer
Head of Advice and Practice
Institution of Occupational Safety and Health (IOSH)



Lars Tornvig
Director
Human House



Workshop 8

OSH 分野の未来を築くための他分野の専門家との協力と連携

The Future of OSH Partnerships and Relationships with other professionals



Matthew Olota
President Elect
International Occupational Hygiene Association (IOHA)



Nathan Winter
President
INSHPO



World Assembly Plenary Closing of Summit & Bridge to next EXPO2030 in Riyadh



JULY 17, 2025 (10:00-12:00) Intex Osaka (Hall G)



日本産業衛生学会は、およそ 100 年の歴史を持ち、産業保健の研究と実践に従事する 9,000 人以上の専門家で構成される学術団体です。この一世紀の間に、日本は軽工業時代、重工業時代を経て、情報化時代へと大きな経済発展を遂げました。その中で、有害物質への曝露による健康被害や、長時間労働による過労死など、様々な労働者の健康問題が顕在化してきました。当学会は、こうした課題に対する予防的取り組みの発展に大きく貢献してきました。近年、日本では急速な高齢化が進む一方で、技術革新や気候変動によって労働者の健康課題が変化しており、新たな対応が求められています。本シンポジウムでは、「日本における産業保健の軌跡」と「日本における産業保健の未来」の 2 部構成で、各分野の第一人者が重要なトピックと知見を共有します。

第一部 日本における産業保健の軌跡 (1929 ~ 2025 年)



座長：森 晃爾
(日本産業衛生学会)



座長：堤 明純
(日本産業衛生学会)

1. 日本における労働衛生政策の発展と課題
堀江 正知 (産業医科大学)
- 
2. 有害化学物質による職業病の予防
上島 通浩 (名古屋市立大学)
3. 仕事のストレスと過労死
堤 明純 (北里大学)
- 
4. 職場における COVID-19 の拡大防止と対策
- 映像提示 -(100 周年記念制作)

第二部 日本における産業保健の未来



座長：武林 亨
(日本産業衛生学会)



座長：吉川 悦子
(日本産業衛生学会)

1. 職場のメンタルヘルスとウェルビーイングの向上
島津 明人 (慶應義塾大学)
- 
2. 日本における健康経営の政策と実務
永田 智久 (産業医科大学)
3. 危機時代の産業保健：日本からの教訓
立石 清一郎 (産業医科大学)
- 
4. 産業保健専門職の育成
森 晃爾 (産業医科大学)
- 

JULY 17, 2025

以下の国際シンポジウムセッションは抜粋です。また、変更の可能性があります。

会場	時間	セッション担当機関・企業	セッション名
Expo Salon	14:00-16:00	国際社会保障協会 (ISSA)	ビジョンゼロ戦略とそのグローバル実施
	16:00-18:00	国際労働監督協会 (IALI)	現代の労働監督アプローチ - ビジョンゼロの職場
INTEX Int'l Congress Hall	14:00-16:00	国際労働衛生工学会 (IOHA)	世界の産業保健優先課題への対応
	16:00-18:00	国際 ORP 財団 (FIORP)	国家的予防戦略とプログラム
INTEX Stage in Exhibition Hall	14:00-15:30	国際 ORP 財団 (FIORP)・デンマーク・グローバル・ビジョン・ゼロ・カウンシル (VZC)	予防のデジタル移行
	15:30-17:00	フィンランド労働衛生研究所 (FIOH)	ビジョンゼロ職場のための効果的戦略
	17:00-18:00	カナダ BC 製造業安全連盟 (Manufacturing Safety Alliance of BC)	リーダーシップと職場のウェルビーイング：感情知性の影響
INTEX Conference Room Hall G	14:00-15:30	ロレアル (L'Oréal)	ハイリスク文化を築く 5 つの方法と、それを壊す 4 つの方法
	15:30-17:00	Capitals Coalition, L'Oréal, Global Solutions, Inc.	人材の持続可能性：健康と安全の価値

JULY 18, 2025

会場	時間	セッション担当機関・企業	セッション名
Expo Salon	10:00-13:00	大阪大学	グローバルな安全・健康・ウェルビーイングに向けて：大阪大学の役割
	14:00-16:00	欧州労働安全衛生機関 (EU-OSHA)	デジタル時代における安全で健康的な労働
	16:00-18:00	国際労働機関 (ILO)	SDGs 達成に向けた、安全で健康的な職場づくりの加速
	18:00-19:00	国際 ORP 財団 (FIORP)	未来のための解決策として過去に頼らない
INTEX Int'l Congress Hall	14:00-16:00	国際労働衛生委員会 (ICOH)	気候変動と労働者の健康：建設労働者と移民労働者
	16:00-18:00	国際労働衛生専門家ネットワーク協会 (INSHPO)	労働安全衛生専門職の進化する役割
INTEX Stage in Exhibition Hall	10:00-12:00	セーフティグローバル推進機構 (IGSAP)	新しい安全の時代：協調安全
	16:00-17:00	連邦労働安全衛生協会 (BASi)	予防のデジタル化 - 構想から現実へ
INTEX Conference Room Hall G	14:00-15:30	ビジョンゼロ基金 (VZF) および国際労働機関 (ILO)	気候変動が労働者の健康と安全に与える影響
	15:30-17:00	国際社会保障協会 (ISSA)	グローバルサプライチェーンにおける VISION ZERO アプローチ
	17:00-18:00	国際労働衛生工学会 (IOHA)	産業衛生を通じた社会的持続可能性の推進

JULY 19, 2025

会場	時間	セッション担当機関・企業	セッション名
EXPO Salon	10:00-12:00	イギリス労働安全衛生協会 (IOSH)	労働安全衛生における持続可能な資金調達と投資メカニズム
	14:00-16:00	G20 OSH ネットワーク	若者の保護とジェンダーに基づくハザード予防に関する新基準の設定
	16:00-18:00	欧州労働安全衛生教育訓練ネットワーク協会 (ENETOSH)	世界的危機、若者と教育：リスク・レジリエンス・共鳴への革新的アプローチ
INTEX Int'l Congress Hall	14:00-15:00	アジア太平洋労働安全衛生機構 (APOSHO)	職場の活性化：安全・健康・ウェルビーイングのための人間中心戦略
	15:00-16:00	欧州労働安全衛生専門職団体ネットワーク (ENSHPO)	変化する世界における OSH 専門職の課題と機会
	16:00-17:00	アフリカ労働安全衛生財団 (OSHAfrica)	アフリカにおける職場の健康とウェルビーイングの現状：緊急課題
	10:00-11:00	香港 職業安全健康局 (OSHC)	健康とウェルビーイング促進：AI 等を活用したデジタル技術
INTEX Stage in Exhibition Hall	11:00-12:00	イギリス労働安全衛生協会 (IOSH)	メンタルヘルスとウェルビーイング：意味のある仕事の影響
	14:00-16:00	Human House および デンマーク・グローバル・ビジョン・ゼロカウンシル (VZC)	メンタルヘルスとウェルビーイングのマネジメント
INTEX Conference Room Hall G	10:00-11:00	マレーシア社会保障機構 (Perkeso)	障がい労働者のためのリハビリと職場復帰支援
	11:00-12:00	国際 ORP 財団 (FIORP)	OSH 技術の新たな安全領域
	14:00-15:30	ISSA (機械・システム安全部門、電気・ガス・水部門、BG ETEM)	デジタル時代における職場の安全対策
	15:30-17:00	ISSA (教育・研修部門)	変化する世界のための OSH 教育：ビジョンゼロへの態度変化

ILO ユース कांग्रेस JULY 17, 2025 Expo Hall

JULY	JULY	JULY	JULY
16 Wed	17 Thu	18 Fri	19 Sat
AM PM	AM PM	AM PM	AM PM



職場の安全・健康・ウェルビーイング ～デジタル時代に生きる私たちの提案～

目的:

若い世代(学生)が、職場における「安全・健康・ウェルビーイング」について考え、全ての人が健康で安全に働く権利を有することを知り、その実現のための行動を促進する。



Images:
From SafeYouth@Work Congress
- XXI World Congress on Safety
and Health at Work (Singapore)



国際標準化フォーラム

JULY 16, 2025

Expo Salon

JULY
16 Wed
AM PM



日本から発信された、人・機械・環境を ICT 技術で連携し、安全性と生産性を同時に向上させる「協調安全」という新しいアプローチを解説する IEC 白書 "Safety in the Future"



一般財団法人日本規格協会
朝日 弘 理事長

国際標準化は、未来の働く環境における安全・健康・ウェルビーイングを支える重要な基盤です。ISO と IEC のトップが万博の場で規格の重要性を議論するのは史上初であり、世界中の専門家が集まり最新動向を共有します。標準化の動向を把握することは、企業にとって変化への柔軟な対応と持続可能な成長戦略の構築につながります。本フォーラムを通じて、国際標準化の潮流を学び、自社の取り組みに活かしていただければ幸いです。

展示会

JULY 16-19, 2025

Intex Osaka

JULY	JULY	JULY	JULY
16 Wed	17 Thu	18 Fri	19 Sat
AM PM	AM PM	AM PM	AM PM

働く環境の安全・健康・ウェルビーイングを向上する技術やサービス、ソリューションを展示する展示会を開催します。

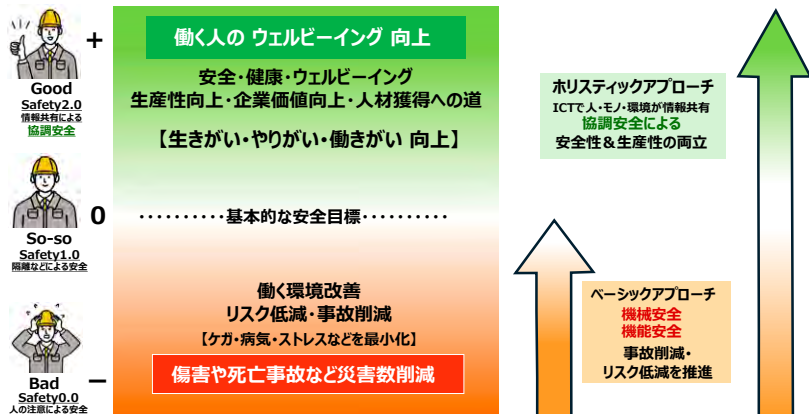
『未来モノづくり国際 EXPO』とともに、労働安全先進国ドイツでメッセ・デュッセルドルフが2年に一度開催する世界最大の労働安全衛生展「A+A」の日本版が、はたらく現場の環境展 (JIOSH+W) として日本初進出します。



従来、働く場の安全健康活動は仕事の原因で起こる怪我や病気、心身の不調を防ぐことが主な目的でした。しかし現在では、安全で健康的に働けるだけでなく、仕事にやりがいや生きがいを見出せる環境を作ることが注目されています。

この進化を推進するためには、経営陣やリーダーが安全・健康・ウェルビーイングの重要性を理解し、その文化を組織内で醸成する必要があります。また協調安全に代表されるデジタル技術を活用した新しいアプローチを導入することで、働く人が安心して働ける環境を整え、働きがいや生きがいを見出せる職場を作ることが重要です。

マイナスからゼロへ、そしてプラスへ



Join GISHW



万博という貴重な機会を活かし、労働安全衛生（OSH）の専門家、企業経営者、政府関係者に加え、デジタル技術やAIを活用した予防ソリューションの開発者、メーカー、関連団体など、多様なステークホルダーが一堂に会します。

日本の労働安全衛生をリードする皆さまにとって、自らの優れた取り組みを世界に発信し、同時にグローバルな最新動向に触れて今後の活動に活かしていただくための、またとない機会です。ぜひ GISHW にご参加いただき、この貴重な場をご活用ください。

お問い合わせ先



全体の企画・ご参加について

Koji Akamatsu (akamatsuk@j-cert.com)
Koji Sagawa (sagawak@j-cert.com)
Takehiro Uehara (ueharat@j-cert.com)
Hideki Yamada (hideki.yamada@idec.com)

展示会

Eikyū Hayashi (eiyu.hayashi@nikkan.press)
Matui Rika (r.matsui@nikkan.press)

国際標準化フォーラム

Emi Handa (Japan Standards Association) (e_handa@jsa.or.jp)
Kozo Sakamoto (Japan Standards Association) (sakamoto@jsa.or.jp)
Koichi Noda (Japan Standards Association) (k_noda@jsa.or.jp)

公益社団法人
日本産業衛生学会
Japan Society for Occupational Health

国際シンポジウム

Masako Nakamura (sanei-jimu@sanei.or.jp)

ILO ユース कांग्रेस

Keiko Noda (ILO) (noda@ilo.org)
Yuka Ujita (ILO) (ujita@ilo.org)

WEB での登録について

Takashi Adachi (sagawak@j-cert.com)
Keisuke Mikawa (mikawa@congre.co.jp)

